

第 24 回 第 4 分科会会議録 (概要)		場 所	新宿区役所第 1 分庁舎 7 階 研修室
日 時	平成 18 年 6 月 2 日 (金) 午後 6 時 30 分 ~ 午後 9 時 00 分	記録者	< 学生補助員 > 坂巻洋翠、永井祐介
		区担当	企画政策課 田中
会議出席者 : 28 名 ( 区民委員 : 23 名 学識委員 : 1 名 区職員 : 4 名 )			
<p>配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議進行次第</li> <li>・ 第 6 回編集部会まとめ</li> <li>・ 第 4 分科会・発表用資料 (案)</li> <li>・ 第 4 分科会活動記録</li> <li>・ 提言発表会チラシ</li> <li>・ 新宿区みどりの実態調査 (第六次) 概要版</li> </ul> <p>進行内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 本日の議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第 6 回編集部会 (5 月 30 日) の報告</li> <li>(2) 提言イベントでの第 4 分科会発表内容の検討</li> <li>(3) 提言 (案) の最終確認</li> <li>(4) その他</li> </ol> </li> <li>3 連絡事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 次回の会議日程について</li> <li>(2) その他</li> </ol> </li> <li>4 閉会</li> </ol> <p>会議内容</p> <p>[発言者] : 区民委員 : 学識委員 : 区職員</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会             <p>(田中): 時間になりましたので、ただいまから第 24 回第 4 分科会を開始させていただきます。 本日配付した資料を確認します。(省略) それでは進行を小宮リーダーお願いします。</p> <p>(小宮): 皆さん、こんにちは。今日のテーマは次第のとおりですが、2 番目の 6 月 25 日の「提言イベントでの第 4 分科会発表内容の検討」につきましては、前回の分科会の後に班長会を開催し、何人で発表するのか、どういふことを発表しようかということをし少し打ち合わせしました。各班長さんがこんなことを言いたいというものをまとめてお配りしてあります。3 つ目の「提言案の最終確認」ですが、編集部会の結果、提言書の内容が別紙のとおりほぼ固まっています。原</p> </li> </ol>			

稿の最終締め切りが本日までとなっていますので、大幅な変更ではなく、どうしても直したいということでしたら、後ほど時間をとりますので確認していただきたいと思います。それから、植木さんから、今日をもって分科会は一旦終わるわけですが、これからどうしていくかということについて提案があるようです。

## 2 本日の議事

### (1) 第 6 回編集部会 (5 月 30 日) の報告

(小宮) それでは、第 6 回編集部会の報告をさせていただきます。

< 資料「第 6 回編集部会まとめ」説明。省略 >

(小宮) 何かご質問等ありましたらお願いします。…よろしいですか。

### (2) 提言イベントでの第 4 分科会発表内容の検討

(小宮) それでは、「提言イベントでの第 4 分科会発表内容の検討」に入ります。これは今日皆さんに審議していただきたい内容なのですが、お手元の資料に「第 4 分科会・発表用資料(案)」がありますが、これは前回の班長会で話し合った内容をもとに各班長さんに作ってもらったものです。これをもとに、25 日のイベントで、第 4 分科会の割り当ての 15 分間で、どのような内容の発表をしようかということを検討しなければなりません。そして、植木さんが次の提言ワーキンググループで第 4 分科会の発表内容を説明しなければならないので、今日中に内容を固めたいと思います。

進め方ですが、ご意見があればいただきたいのですが、まずはお手元の資料をベースに足りないところがあれば増やしていくという方法がよいかと思います。発表者も 6 人でやるのか、それとも 1 人が 2 人でやるのかも決めたいと思います。そのためには、まずはこの資料を読んでいただきたいと思います。何かご意見がありましたらお願いします。

(伊藤): 第 4 分科会の提言案の 3-7 のタイトルが「資源循環型社会」となっていますが、発表資料の活動のまとめの では「資源循環社会」になっており、「型」が入っているものと入っていないものがあります。これは統一しなければならないと思います。

「資源循環型社会」に統一

それでは 7 時ぐらいまで資料を見ていただいて、班ごとに、発表はどのような内容で誰が行うかということを決めていただきたいと思います。

(八代): すみません。チラシに「SHINJUKU FUTURE」と英語で書いてあるのですが、意味が分かりにくいと思います。「FUTURE OF SHINJUKU」とかしないと正しい英語にならないと思います。

(田中): 区民委員の原稿をもとに事務局で印刷したのですが、ご指摘を受けて、確かに文法的にはおかしいと思いました。ただ申し訳ないのですが、これはもう全部印刷してしまいましたのでどうかご了承ください。チラシについて説明しますと、この黄色いチラシはこの会場の受付に置いてありますので、知人とか、家の前に貼って周知していただきたいと思います。それ以外に、同じデザインのカラーポスターを区の委託掲示板や出張所、公共施設に貼っています。それと、6 月 5 日の広報の第 1 面で提言発表会のことが大きく載ります。第 4 分科会の会議風景の写真も載りますのでご覧ください。

(小宮): 前回の班長会の打ち合わせで、「まず、キーワードとして各分科会で『大切に考えた

こと』、こういうことを考えながら進めていったという『論点』、最後に、『結論』を話せばよいのではないかと。そうすれば、『思い』だけではなく、分科会で何をやってきたかがわかるだろう」という結論が出ました。発表（案）は色々な書き方をされていますが、この3つに絞って話をすれば、6人で発表してもよいのですが、原稿をまとめて代表が発表する場合でも、それ程難しくはないのかなと思います。もしよろしければ、「大切にしたこと」「論点」と「経過と結果」をまとめていただけませんか。それである程度話ができれば、後はそれを何人で発表するかということになります。そうした形でご検討をお願いします。

（上林）：私は前回お休みしてしまって分からないのですが、前の段階では遠藤さんと犬塚さんが発表することになっていたと思うのですが。

（小宮）：そういう班長会の案をもって前回の分科会で皆さんに提案したのですが、「せっかく発表をするのであれば、6つの班で検討したのだから6つの班で話そうよ」とか、「6人だと見にくいかもしれないので、1人か2人で話そうよ」等色々な意見が出ました。また、ワーキンググループの植木さんから、以前は提言書の内容を話す方針だったのですが、世話人会に説明したところ、「提言書の内容は読めばわかるので、分科会ごとに『思い』を中心に話をしよう」ということで決まったと説明がありました。ただ、「思い」と言っても何を話したらよいか具体的に分からないので、ある程度分科会の中で、こういうことを頭に入れて話をしましょう、それを何人でやるかということを決めましょうということになったわけです。大切に思ったことはこれで、論点はこうで、結果こうなったんだということを筋道立ててストーリーを作っていくことで、班ごとに形が近づいていくのかなということが前回班長会で決まったので、それを先ほどお願いしたものです。以上です。

（田中）：こちらの資料は私が打ち直したところがありまして、一部誤植があります。

- ・1ページ目：本文2行目「身の回り様々な」 「身の回りの様々な」
- ・1ページ目： 「資源循環」 「資源循環型」
- ・2ページ目：「資源源循環班」 「資源循環班」
- ・2ページ目：3経過と結果、本文 「輩出」 「排出」

（田中）：また、「第4分科会活動記録」にも訂正があります

- ・1ページ目：18.6.2「第23回」 「第24回」
- ・3ページ目：<班長会>「18.4.22班長会議『提言のまとめの検討』」が抜けている。

（田中）：いろいろ間違いがありまして申し訳ありません。

#### < 班別討議 >

（小宮）：7時半になりましたので、また全体討議をスタートしたいと思います。今温暖化チームのところで話し合ったのですが、やはり、誰が何を話すかが決まらなるとまとめるのは難しい気がします。どうでしょうか。各班から具体案をいただければありがたいのですが。

（犬塚）：最初は発表者は2人という話もありましたが、これだけ皆さんの「思い」が入っているものがまとまっているので、この原稿どおり話しても違和感はないと思います。順番に話せば人が変わって楽しい面もありますし、書いた人が話す方が「思い」が一番伝わると思います。

（小宮）：他にご意見ある方はいますか。

：提言（案）の -5の「みどりと水、太陽の豊かなまち」の、「取り組みの方向性」に関して

ですが、今まで第 4 分科会の中の各所から、「木や緑が減っている、特に再開発や建替えの時に減っている、それに対する対策を何とかできないか」という発言があったと思うのですが、それがこの「取り組みの方向性」の中に抜けているようです。よろしければ補っていただいた方がよいのではないかと思います。「再開発、建替え時の樹木の保存策」を検討してもらいたと思います。

(小宮): すみません。それは次の議題にさせていただきたいと思います。他にご意見はありますか。

(渡辺): 先ほど 6 つの班で 1 人ずつ発表すればよいとのご意見がありましたが、6 人が出たり入ったりするのは聞いている方としては煩わしいのではないかと思います。それで、「大切に考えたこと」とか「論点」とか「その結果」についてまとめ、犬塚さんに論理的に説明していただいて、一年間検討する過程でこういうことがわかったとか、こういうことが面白かったとか、こういうところで苦労したとか、どういう思いでやってきたかという、そういう感情的なところを遠藤さんに発表していただいたらよいのではないかと思います。

(上林): 発表の内容がよく分からなかったもので、私も「思い」は書いたつもりなのですが、統一感が全然ないですね。もう一度書き直さなければならぬと思います。私は、犬塚さんが発表していただければよいと思います。

(小宮): 他にご意見ありますか。

(犬塚): 2 回ほど固有名詞が出た犬塚ですが、はっきり言って荷が重い。1 つの話に再構成して、それを第 4 分科会としての「思い」として話をするのは、私 1 人がやることとしては荷が重いというのが正直な感想です。

それで、今出てきている叩き台を見ると、確かに班によって凸凹があるのは確かですが、それは各班でもう一度内容をチェックすればよい。一人では荷が重いので、やはり 6 人でやった方がよいというのが私の印象です。6 人が壇上に上って、お互い手をつなぎあってやっていくのがよいのではないのでしょうか。各班の共通した項目でピチッとやっていくのが格好いいのですが、班によってはそういうものではなく、多少融通があってもよいかなと思います。試しに「環境と美化」の項目を読み上げてみたのですが、2 分 40 秒でした。全部で A4 で 4 ページありますので、単純に計算して 12 分になりますので、何とか時間内に収まると思います。

(小宮): とにかく最終提言書なんだから、各班から 1 人ずつ班長さんを中心にこうした活動をしたということを知ってもらうことを一番の目的と考えれば、1 人で発表するより大勢でやった方が分かってもらえると思います。その代わり、テキパキとやらなければならないのですが。発表の中身ですが、温暖化班のところ「区民会議に参加した思い」というのがありますが、この「思い」を感想のようなものにするのか、それとも提言書を作り上げるための「思い」とするのか、大きく分けると 2 種類あると思います。こういうことを大切に考えて、それで取り組んで、これが論点で、このような提言をしたという「思い」。これが中心になってくると、発表会の中の「思い」の意味合いが、比較的内容の発表に近づいていくのではないかと思いますので、その点をはっきりさせる必要があります。地球温暖化班の原稿では、4 番の にすごく良いこと書いてあるので、ここの言い方を変えれば は要らないかと思います。また、環境と美化班の原稿でも、「24 回も会議を行い、合意形成をした。これが協働と参画だ。」という前向きな言い方にした方が個人的にはよいと思います。そうした点を考慮しながら各班長さんに原稿を作ってもらいたいのですが、いかがでしょうか。

(植木): 二つの意見が出ていますので、多数決で決めたらどうかと思います。6人で話す場合は、一部が始まって、すぐに舞台上に上がれるように舞台袖で待機してもらうことになるかと思います。

(小宮): では、各班の方がそれぞれ壇上に上がって6人で話しをする方がよいと思う方、お手を挙げてください。

はい、11人ですね。手を挙げてない人は9人ですので、6人で発表するという決めで決めたと思います。

<拍手>

(小宮): では、次のステップとして、発表の内容について、概要を原稿にまとめ、16日のワーキンググループの前に植木さんに渡さなければなりません。原稿は各班が責任持って作るということによろしいでしょうか。また、多くの方が聞きに来るので、それに応じた表現をした方がよいということについてはどうでしょうか。それと、先ほど犬塚さんが読んでくださったのは2分40秒ですので、もう少し短い方がよいと思います。植木さんどうでしょうか。

(植木): 原稿は14日の昼頃までに事務局の田中さんに必ず各班の責任で届けてください。それから発表者名についても14日までに事務局に報告してください。間に合わない場合はその部分はカットということもあります。また、16日のワーキンググループに、発表する人にも出席していただくことになっています。6人全員に来ていただきたいのですが、2,3人でも構いません。

(小宮): いずれにしても最低1人は出るようにお願いします。まとめますと、6月14日までに、発表者名と16日のワーキンググループに出席する人の氏名と発表用の原稿の3つについて、事務局まで提出をお願いします。

### (3) 提言(案)の最終確認

(小宮): それでは発表内容の検討はここで終わりにして、提言書の案を班ごとに最終確認していただきたいと思います。

<班別討議>

(小宮): とりあえずご確認いただいて、修正箇所を書いて、今日提出してください。

(石塚): 3つの市民的な意味で使用している、「区民」「市民」「企業」「事業者」「区」「行政」という言葉遣いを統一してくださいと前回お願いした際に、「編集部会で検討します」というお答えをいただきました。第4分科会の中でも色々混在していますが、誰がどうやって統一するのでしょうか。

(小宮): それは6分科会で統一的に表現を統一する項目にはなっていませんが、第4分科会の中で統一することはできます。

(吉田): 区民・事業者・行政という表現で統一したらどうでしょうか。

(小宮): ではそのように修正しましょう。

(田中): 少し補足させていただきますが、活動の記録と委員の氏名が書いてありますが、修正

や追加があればご指摘ください。これらは提言書の後ろの方に載ります。

(小宮): 提言案に修正がある場合は事務局に渡してください。よろしくお願いします。

#### (4) その他

(小宮): 植木さんからご提案があるそうですので、よろしくお願いします。

(植木): 第 4 分科会も今回でひとまず終了となりますが、希望者により、分科会の O B という仲間として名簿を作りたいと思うのですがどうでしょうか。まだ何をするとか決めていないですが。用紙を用意しましたので、もしよければ名前を書いてください。完成した名簿はメールまたは 25 日にお渡しします。1 年間一緒にやって来た仲間として連絡し合えることを目的に作成します。それ以外の目的では使いませんので、よろしくお願いします。

### 3 連絡事項

(田中): 前回もお話しましたが、今後のことですが、今回が提言書をまとめるための最後の分科会となります。6 月 25 日に区長に提言書を提出すると、その後しばらく分科会はありません。7 月から基本構想審議会を開催しますが、それには学識経験者や区議会議員のほか、各分科会から 1 名出ていただくことになっており、第 4 分科会では小宮リーダーに出ていただくことを前回決めました。審議会は月 2 回程度開いて、皆さんに作っていただいた提言書をベースにして、基本構想、基本計画の策定に向けて検討していただき、最終的には 2 月に区長への答申という形で提出されます。その前に大筋のものがまとまった段階で骨子案を区民会議の皆さんに示しますが、子案に盛り込まれなかった提言内容については、理由を付けてお示しします。それに対して、皆さんからご意見を言っていただき、その意見を踏まえて審議会で答申を最終的にまとめます。その答申を基に区で、基本構想、基本計画をまとめていきます。こうしたスケジュールになりますので、この分科会はしばらくお休みになりますが、11 月から 1 月の間に骨子案についての意見を皆さんから伺うために分科会を開きます。その際は案内を差し上げますので、是非お集まりいただきたいと思います。

(小宮): 有難うございました。最後になりますが、お世話になった吉田先生から一言いただきたいと思います。

(吉田): 皆さん、どうもお疲れ様でした。活動記録を見ますと、分科会を 24 回、その他各班の活動と班長会を開催しました。班長会が意外と少ないと思ったのですが、1 回の時間がすごく長くて、11 月から 12 月にかけてはデスマッチのように続いていたのを記憶しています。班長の皆さん、班員の皆さん、ご苦労様でした。

最初のうちは、当然皆さんの顔も分からない状態でスタートしましたので、拙い私のお手伝いで何とか進めさせていただいて、途中から小宮さんを始めリーダーの方々が自主的に動かれるようになってきました。他の分科会のことは分かりませんが、結果的には、「第 4 分科会丸」は、嵐のような大変な状況はありましたけれども、何とかまとまって、一旦まず港に着こうとしているのかなと感じています。

実は私は、別の区の区民会議のお手伝いもさせていただいているのですが、そちらはかなり長くしゃくして今大変な状況になっています。それと比べるとやはり皆さんは、1 年間という時間をかけて、お互いを良く知りながら、そしてまた共通のテーマで、色々な角度から議論をしながらやってきました。結果的には、皆さんとしては 100%とは言えないかもしれませんが、私は皆

## 新宿区民会議＜第4分科会会議録＞

さんの努力のプロセスは100%だったと思ってます。本当はここにもっと沢山の方々がいらっしやって、ご都合が悪くて出られないのではないかと考えていたのですが、今日も20名を超える方が集まっています。私、お土産のもみじ饅頭の数間違えて大変申し訳ございませんでした。

本当に皆様のご努力に、私は心から敬服しております。私も皆さんに色々教えていただくことが多かったと思っています。私の使命は6月25日をもって終了すると思っていますので、潔く身を引きますけれど、引き続きどうぞ皆さんは区民会議を盛り立てていただきたいと思っています。吉野先生と輿水先生も所用があってどうしても東京にいないものですから、今日は出席できませんが、「どうぞ皆さんよろしくお伝えください」ということでした。25日には万全を配して来ていただけたと思います。

皆さん、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

<拍手>

### 4 閉会

(小宮): ではこれをもちまして、本日の分科会を終わりにします。お疲れ様でした。この後飲み屋で楽しくやりましょう。